

様式 A 総合理工学総論 II (各系教務委員)

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	総合理工学総論 II General Aspects of Integrated Engineering		単位 1
	一般・専門の別・ 学習の分野	専門・融合科目・その他	授業形態・学期	その他・通年
	対象学生	総合理工学科・2～3年生	必修・履修・ 履修選択・選択の別	選択
	担当教員・所属	教務委員・機械・電気電子・情報システム系 総合理工学科		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	機械工学, 電気電子工学, 情報工学		
	学科学習目標との関 連	本科目は総合理工学科の学習目標「③ 基盤となる専門性の深化」に相当する科目である。		
	技術者教育 プログラムとの関連	本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(A) 技術に関する基礎知識の深化, A-1: 工学に関する基礎知識として, 自然科学の幅広い分野の知識を習得し, 説明できること」である。		
	授業の概要	機械, 電気電子, 電子制御, 情報工学科から総合理工学科へ転学科する学生が, 転学科後の専門科目の学習に支障を来さない学力を身につけることを目的にした科目である。具体的には, 総合理工学科1年生の必修科目の工学系基礎科目の中から元の所属学科での習得済み科目を考慮して授業内容を決定する。		
	学習目的	総合理工学の基礎知識を理解することで, 工学現象の理解や問題解決のための基礎能力を修得する。		
	到達目標	1. 総合理工学の基本的な考え方を理解する。 2. 幅広い理工学分野についての基礎事項を理解する。 3. 演習を通じて理解を深化させる。		
履修上の注意		機械, 電気電子, 電子制御, 情報工学科から総合理工学科第2年次転学科学生を受講対象とする。長期休業期間などを利用して, 集中講義で行う。		
履修のアドバイス		総合理工学科の基礎科目で, 転学科後の学習の基礎固めとなる教科である。これら教科の理解は転学科して学習を行うためには必修である。		
基礎科目				
関連科目		など		

授業にかかわる情報		
授業の方法		長期休業期間などを利用して，集中講義で行う。課題レポート・演習を中心に，必要に応じて講義を行う。
授 業 計 画	開講週	内容〔項目〕（指示事項）
	前期 1 週 ● ガイダンス 2 週 ● 3 週 ● 4 週 ● 5 週 ● 6 週 ● 7 週 ● 8 週 ● 9 週 ● 1 0 週 ● 1 1 週 ● 1 2 週 ● 1 3 週 ● 1 4 週 ● 1 5 週 ● 後期 1 6 週 ● 1 7 週 ● 1 8 週 ● 1 9 週 ● 2 0 週 ● 2 1 週 ● 2 2 週 ● 2 3 週 ● 2 4 週 ● 2 5 週 ● 2 6 週 ● 2 7 週 ● 2 8 週 ● 2 9 週 ● 3 0 週 ● 最終課題の提出	
教科書，教材等		教科書： 参考書：
成績評価方法		演習，レポート（100％）。
受講上のアドバイス		予習・復習が大切である。また，分からないことがあれば質問すること。

ルーブリック								
	優		良		可		不可	
評価項目 1	総合理工学を理解し，的確に説明することができる。		総合理工学を理解し，説明することができる。		総合理工学を理解し，説明することが概ねできる。		総合理工学を理解せず，説明することができない。	
プログラミング 評価項目 2	幅広い理工学分野についての基礎事項を的確に説明することができる。		幅広い理工学分野についての基礎事項を説明することができる。		幅広い理工学分野についての基礎事項を概ね説明することができる。		幅広い理工学分野についての基礎事項を説明することができない。	
評価項目 3	教科書にある基礎的な演習問題を解き，正しく説明することができる。		教科書にある基礎的な演習問題を解き，説明することができる。		教科書にある基礎的な演習問題を解き，説明することが概ねできる。		教科書にある基礎的な演習問題を解き，説明することができない。	
評価割合								
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計	
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0	
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	0	100	0	100	
分野横断的能力	0	0	0	0	100	0	100	